

## 胃癌に対する腹腔鏡下噴門側胃切除および腹腔鏡下胃全摘に関する比較研究

### 1. 研究の対象

2004 年 4 月～2017 年 12 月に当院で胃がんに対して腹腔鏡下噴門側胃切除あるいは腹腔鏡下胃全摘の手術を受けられた方

### 2. 研究目的・方法

目的：近年、胃癌に対する腹腔鏡下手術が普及してきております。また機能温存の観点などからも、腹腔鏡下噴門側胃切除も徐々に広がりつつあります。本研究では、胃癌に対して、腹腔鏡下噴門側胃切除あるいは腹腔鏡下胃全摘を受けられた方に対して、術後 QOL や体重、栄養ステータスの変化、予後について両術式を比較検討することを目的とします。

方法：胃癌に対して、腹腔鏡下噴門側胃切除あるいは腹腔鏡下胃全摘を行った患者さんに対して、カルテなどから情報抽出を行い、術後 QOL や体重、栄養ステータスの変化、予後等について検討を行います。

研究期間：倫理審査委員会承認後～2023 年 12 月 31 日

### 3. 研究に用いる情報の種類

情報：病歴、抗がん剤治療の治療歴、副作用等の発生状況、カルテ番号、手術動画等  
試料：なし

### 4. お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。

ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。

また、情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としますので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

<照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先>

研究責任者：大阪国際がんセンター 消化器外科 大森 健

住所：〒541-8567 大阪府中央区大手前3-1-69

電話：06-6945-1181